

担当教員 松尾瑞穂				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DCSh01	授業形態 演習	単位 2
キーワード 親族、家族、つながり (relatedness)、サブスタンス		対象学年 博士後期課程 1～3 学年	聴講・参加資格 総研大、他大学 (注1)	
科目名称：日本語 比較文化学特論 I				
科目名称：英語 Lecture I (Comparative Studies)				
科目の概要：日本語 家族とつながりの人類学				
科目の概要：英語 Anthropology of Family and Relatedness				
科目の目的： 本講義では、生殖に必ずしも限定されない親族、親子関係について論じるつながり (relatedness) という概念をキーワードとして、近年の新しい親族・家族研究の動向を概観し、理解を深めることを目的とする。				
学習成果・習得する技能や知識： 近年の親族研究の動向を理解し、説明することが出来る。 英語文献を読解し、発表することが出来る。				
成績評価方法・基準： 授業への貢献度 (30%) と発表内容 (70%) を基に評価する。				
授業内容： 講義と文献読解、討論を通して親族・家族研究の新しい潮流について批判的検討を行う。受講者は以下の各文献を読解し、発表する。そのうえで、参加者全員でディスカッションを行う。 (1) Schnider, David 1980 (1968) <i>American Kinship: a cultural account</i> , University of Chicago Press.  (2) Carsten, Janet (ed) 2000 <i>Cultures of Relatedness: New Approaches to the Study of Kinship</i> , Cambridge University Press. その他、文献は初回時に提示する。				
日程： 受講者と相談のうえ決定する。				
実施場所： 民博内総研大演習室				

<p>実施場所： Sokendai Seminar Room</p>
<p>使用言語： 日本語</p>
<p>その他使用言語： 英語</p>
<p>その他使用言語： English</p>
<p>準備学習： 受講生は、必ず課題文献を読み参加すること。</p>
<p>関連科目・履修条件： 特になし。主言語は日本語だが、受講者の発表を英語で行ってもよい。</p>
<p>関連科目・履修条件： Participants can do their presentations by English.</p>
<p>教科書・必読書： (1) Schnider, David 1980 (1968) <i>American Kinship: a cultural account</i>, University of Chicago Press. (2) Carsten, Janet (ed.) 2000 <i>Cultures of Relatedness: New Approaches to the Study of Kinship</i>, Cambridge Univ. Press. (3) Wade, Peter (ed.) 2007 <i>Race, ethnicity and nation : perspectives from kinship and genetics</i>, Berghahn Books. そのほか、授業で指示する。</p>
<p>参考書・その他の教材： 授業中に示す</p>
<p>備考： 注1：当該科目を履修できるのは、総研大全学の他に下記の大学院研究科の学生に限る。 ・京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 ・大阪大学大学院 人間科学研究科 ・神戸大学大学院 国際文化学研究科、人間発達環境学研究科 ・京都文教大学大学院 文化人類学研究科</p>